

平成 30 年度
第 2 回まちづくり委員会会議録要旨

日 時 : 平成 30 年 6 月 18 日 (月) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
場 所 : 香美市役所 3 階会議室 301・302
出席者 : まちづくり委員 18 名
 市長、企画財政課長、企画調整班 3 名、定住推進課 3 名
会 長 : 公文久郎委員

【協議内容】

1. ふるさと納税の活用方法について (定住推進課より)

担当者からふるさと納税について、寄付額の推移やこれまでの活用方法などの説明があり、まちづくり委員さんの個人的な意見でかまわないので、どのような事業に活用したら良いかアンケートに答えていただきたいとの依頼。

2. 協働のまちづくりについて

5 月 23 日に開催した運営委員会で、協働のまちづくり条例に取り組む前に、まず協働のまちづくりについて話し合うことになったので、小委員会ごとに協議を行う。

・全体説明

当日配布資料を使用して、「協働」、「協働の必要性」、「協働のまちづくりとは」について説明を行う。

・各小委員会で協議

前回までの小委員会と同じ構成メンバーで、小委員会の名称に関わらず、協働のまちづくりについて自由に協議を行う。

3.全体会

<健康福祉・教育小委員会>

- ・人口減少対策の提言でも示した「まちづくりパスポート」を導入し、協働のまちづくりに関わることで協力してくれた市民にプラスになるようなきっかけづくりを作っていくことで協働のまちづくりが進めていけるのではないかと。
- ・子育て中の人々が会議に参加などする時に、託児スペースを作ると参加しやすいのでは。
- ・物部などの遠方からも参加しやすいように大画面のテレビ会議を開くのはどうか。
- ・物部は横のつながりが取れており、地域が支えあっているため、協働のまちづくりのモデルになるのではないかと。

- ・土佐山田の自治組織は町内会に入らないなどで崩壊しつつあり、若い世代と生活サイクルが違い、あいさつがない。町内の行事は昼間が多いため、若い人が集まりにくい。

<産業・まちづくり小委員会>

- ・自治会や町内会単位で行っていることを発展させていくことが協働のまちづくりになるのではないか。
- ・工科大生の委員さんが防災サークルでボランティアに積極的に参加しているので、防災について協働のまちづくりのテーマに非常に良いのではないかという話だったが、なかなか集約するまでにならず、委員の皆さんの意見を聞いて終わった。

<建設・環境小委員会>

- ・地域の課題について、自助・共助・公助のどれに該当するのかを整理することが重要で、条例に組み込んでいく必要がある。
- ・まちづくりそのものに対して無関心な市民が多いので、そのような人達をどのように取り込んでいくか。条例案を HP などでも市民に周知し、パブコメなどを経て市民と一緒に策定していくべき。
- ・市民がまちづくりにどのレベルまで参加していくのか、線引きをすることが重要。
- ・情報の共有は香美市のホームページが中心となるが、あまり内容が充実していないので、各課の足並みが揃うようにとりまとめを行い、情報を共有しやすいように整理していくべき。

○次回は協働のまちづくり条例の原案を作成した議員に出席してもらい、協議を行う予定。
委員の皆さんは目を通せる範囲でかまわないので、条例（案）を見ておいていただきたい。